

就任のごあいさつ



副議長
竹内 裕

このたび3月定例会におきまして、先輩、また同僚議員の厚いご支援をいただき、第45代副議長に就任させていただくことになりました。改めて御礼申し上げると同時に、責任の重さを痛感しております。土浦市議会は県南の中でも代表的な、歴史のある議会でございます。これから1年間、議会の円滑な運営に向け、誠心誠意努力してまいりますので、なお一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。就任のごあいさつとさせていただきます。

神立駅周辺地区整備調査 特別委員会報告（要旨）

神立駅周辺地区については、土地区画整理事業の整備方針のもと、地元説明会や戸別訪問等により、平成21年12月末で92.1パーセントの同意が得られたことから、去る1月6日、土浦市長と、かすみがうら市長が協議を行い、都市計画決定に向けた手続きを進めることになった。今後は、土浦市とかすみがうら市で一部事務組合を設立し、国・県と協議しながら都市計画決定を行い、事業計画の決定を目

指すことから、かすみがうら市との連携を深め、合意形成を図りながら調査研究を重ねてまいりたい。

◆神立駅周辺地区整備調査 特別委員会

委員長	久松 猛
副委員長	川原場明朗
委員	井坂 正典
	海老原一郎
	柳澤 明
	矢口 清
	竹内 裕
	田中 洋介

市町村合併調査特別委員会報告（要旨）

当委員会は平成19年6月に設置され、茨城県市町村課から合併構想の説明を受けるなど調査・研究を重ねてきたが、隣接するつくば市議会では、現在、合併調査特別委員会は設置されていない状況である。また、政府においては、先の閣議で合併の推進に向けた国・県による積極的な関与を廃止する合併特例法の改正案を決定したことや、現段階での近隣自治体の合併に対する気運醸成は十分でないことから、近い将来において、本市の新たな合併の動きはないものと判断し、委員総意により、当委員会の調査・研究は終了することとした。

◆市町村合併調査特別委員会

委員長	本橋 道明
副委員長	内田 卓男
委員	吉田千鶴子
	矢口 清
	竹内 裕
	川口 玉留
	松本 茂男

意見書（要旨）

市民に係わりのある問題でも、それが国の仕事であったり、県の仕事であったりする場合、市の行政だけでは解決できないこともあります。そのような時、本市議会の意思として、国や県などの関係行政機関のほか、政府などに「意見書」を提出して問題の積極的な解決を求めます。

◆「選択的夫婦別姓を認める民法の一部改正」に反対を求める意見書

今日、選択的夫婦別姓に関する国民世論は分かれており、国民的合意に至っていない。本来、民法は家族を保護する為の基本的な法制度であり、この制度が導入されることになれば夫婦の一体感の希薄化や、離婚が容易に出来る社会形成に繋がる懸念される。一部の働く女性から旧姓使用を求める声もあるが、これについては各分野の運用面での対応等で、現実的方策による解決を図るべきである。以上の内容を踏まえ、「選択的夫婦別姓を認める民法の一部改正」に反対を強く求めるものである。

【提出先 内閣総理大臣・衆議院議長・参議院議長】

◆独立行政法人国立病院機構「霞ヶ浦医療センター」の医師確保の支援を求める意見書

霞ヶ浦医療センターは、永年「国立病院」として親しまれ、土浦市民のみならず県南の中核病院として高い評価と信頼を得ているところである。しかし、診療科が縮小され、患者数が減ってきていることは、市民にとって安心安全に暮らすことに不安がもたらされている。このような状態から1日も早く脱却し、県南の中核病院としての体制を維持するため、医師確保の支援策を早急に講じることを求める。

【提出先 内閣総理大臣・厚生労働大臣・総務大臣・茨城県知事】



霞ヶ浦医療センター